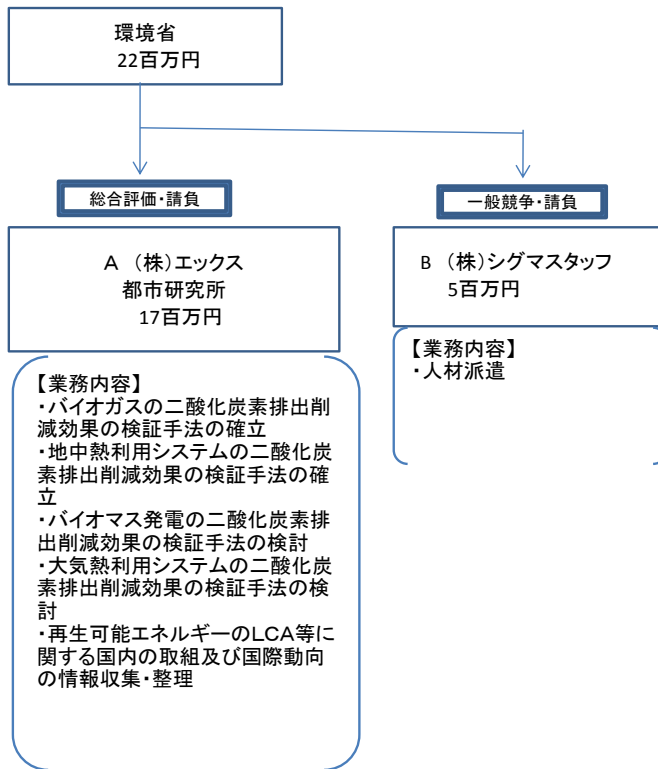


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	再生可能エネルギー二酸化炭素削減効果検証費	<b>担当部局庁</b>	地球環境局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22～24年度	<b>担当課室</b>	地球温暖化対策課	調整官 和田篤也				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項	<b>関係する計画、通知等</b>	京都議定書目標達成計画					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	再生可能エネルギーは、使用時に温室効果ガスを排出しないため、地球温暖化対策の有効な手段と考えられているが、ライフサイクルを通じた評価が必要である。そこで本業務では、再生可能エネルギー及び地中熱・大気熱利用について、原料調達、輸送、製造、処分等を含むライフサイクルを通じたCO2削減効果を把握し、あるいは検証する手法を確立し、排出削減効果の確実な把握と効果的・効率的な排出削減の実現に貢献する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	文献調査、ヒアリング、ケーススタディ等により、再生可能エネルギー等のライフサイクルを通じた温室効果ガス削減効果の把握・検証手法を確立する。平成24年度は、これまでに策定・検討した個別のガイドライン等を踏まえつつ、再生エネルギー等全般に適用可能な包括的なガイドラインを策定する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	25	23	11	—	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	—	25	23	11	—	
	執行額	—	22	22	—	—		
執行率(%)	—	88%	96%	—	—			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、ライフサイクルを通じた二酸化炭素削減効果の把握を可能にするるとともに、地球温暖化対策としてより効果的な技術を開発するための検証手法の確立に向けた検討・調査を行うものであり、定量的な成果目標を設定することは困難であるが、本事業で確立した検証手法が活用されることにより、よりの確かなCO2削減効果を示すことを目標とする。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	LCAガイドラインの策定件数		活動実績 (当初見込み)	件	—	0	2	— ( 2 ) ( 1 )
<b>単位当たりコスト</b>	22 (百万円/件)		算出根拠	(22年度執行額+23年度執行額)÷活動実績件数 (22百万円+22百万円)÷2件=22百万円				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	11	—	平成24年度で事業終了				
計	11	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	再生可能エネルギーについて、ライフサイクルを通じたCO2削減効果の検証は不可欠であり、そのための基盤となる手法を確立することは、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総合評価落札方式又は最低価格落札方式の一般競争入札により事業者を選定しており、競争性が確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業開始当初の目標設定に対して、着実に事業が進められており、策定したガイドラインは環境省のHP上で公開している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度に包括的なガイドラインを策定することとしているため、平成24年度で終了とする。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	点検結果欄に記載のとおり、本事業については平成24年度限りで廃止とする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	廃止		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成23年度公開プロセス            予算監視・効率化チームの所見：再生可能エネルギーのLCA評価は大変重要であるが、より効果的な事業とするため、調査対象を慎重に検討の上、必要な絞り込みを行い、事業費の縮減を図ること。            対応：調査項目等を見直し、必要最低限の予算となるよう、平成24年度概算要求額を減額。            (参考) LCAガイドラインの公開ウェブサイト：<a href="http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biofuel/materials/LCAguideline.html">http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biofuel/materials/LCAguideline.html</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	012

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.(株)エクス都市研究所			C		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費		9			
	外注費	委託費	4			
	賃金	作業員賃金	1			
	その他	会議費、旅費、諸謝金	1			
	一般管理費		2			
	計		17	計		0
B.(株)シグマスタッフ			D			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
雑役雑費	人材派遣	5				
計		5	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エクス都市研究所	バイオガスの二酸化炭素排出削減効果の検証手法の確立	17	1	99%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シグマスタッフ	人材派遣業務	3	1	99%
2	(株)シグマスタッフ	人材派遣業務	2	4	61%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					